

【鳴門市行政評価】

平成27年度事務事業評価シート(26年度実績)

◎基本情報

事務事業名	高齢者無料バス優待事業		担当部署	健康福祉部 長寿介護課	
総合計画体系			根拠法令 計画など	老人福祉法(昭和38年、法律第133号)第13条の2	
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で 生きがいを感じるまちづくり	事業 期間	開始	昭和 <input type="text" value="49"/> 年度
政策(中項目)	1	ひとにやさしく健康で安らげるまち なると			終期
(小項目)		高齢者福祉			
施策	4	高齢者福祉の推進			
基本事業	1	いきがいと健康づくりの推進			

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 鳴門市に住民登録を行っている満70歳以上の者 (及び障害者手帳の交付を受けている者)						
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	市内のバス路線を利用する高齢者に対し無料バス優待券を交付することにより、交通弱者である高齢者の移動手段を確保し、生活圏の拡大を図ることを目指す。						
事業計画	26年度に何を計画していたか	事業を継続実施する。						
成果目標	事業目標の達成度合	指標名	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	単位
		鳴門市高齢者等無料バス券申請件数	350	400	400	400	400	件

◎実施結果(DO)

事業実施内容	26年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	利用状況の継続的な把握のため、7月と10月に1週間ずつ利用者数の調査を実施(徳島バスが調査)。					
事業実施手法		<input type="checkbox"/> 市実施 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他					
指標名		25年度実績	26年度実績	27年度目標	28年度目標	29年度目標	単位
活動指標	1						
	2						
成果指標	鳴門市高齢者等無料バス券申請件数	387	314	—	—	—	件
	目標達成率(実績/目標)		78.5	—	—	—	%
今年度の進捗状況	未達成	事業全体の進捗状況			ほぼ計画どおり		

(千円)

財源内訳	年度	区分	国	県	地方債	その他特定財源	一般財源	事業費計
	平成26年度	当初予算額	0	0	0	0	4,907	4,907
		全体予算額	0	0	0	0	5,901	5,901
		決算額	0	0	0	0	5,901	5,901
		繰越額	0	0	0	0	0	0
	人件費	正規職員(6,878千円/人)	臨時職員(2,023千円/人)		総人件費		総事業費	
		0.2		405		6,306		

事業費推移	年度	25年度決算	26年度決算	27年度	28年度	29年度
	事業費	4,819	5,901	5,915	5,915	5,915
	うち一般財源	4,819	5,901	5,915	5,915	5,915
	人件費	402	405	405	405	405
	総事業費	5,221	6,306	6,320	6,320	6,320

◎項目別評価(CHECK)

評価項目		評価値		所見欄
①活動に対する評価	有効性	A:有効性があった		高齢者の移動手段の確保、外出機会の増加に役立っている。
	効率性	A:効率的だった		事務負担と利用実態の把握の両面において、効率的な運用がなされている。
②成果に対する評価	指標名	鳴門市高齢者等無料バス券申請件数		無料バス優待券の交付枚数は、目標数を達成できていない。
	目標	400	件	
	実績	314	件	
	評価	C:あまり目標を達成できなかった		
③総合的な評価		A		前年度から継続して、予定の事業(市内路線バスへの優待券の適用)を実施できており、目的は達成できていると判断している。

◎今後の方向性(ACTION)

課題	現在の路線での実施となったのは平成25年度からであり、引き続き「第6期高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画」期間中の平成29年度までは、経過を見たうえで、高齢者のライフスタイルや生活支援サービスの状況に応じて、本事業の評価を行う必要があると考えている。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	H27年度	利用状況の継続的な把握に努める。			
	H28年度	同上			